

## V 日高振興局

### 1. みなべ町農業士会が耕作放棄地対策研修を実施

10月7日、みなべ町農業士会（会長：松川哲朗氏）の役員ら7名は、地域で増加する耕作放棄地対策の参考にするため、田辺市上秋津の「秋津野ガルテン」で研修を行った。

最初に、農業法人「秋津野」の玉井常貴会長から、地域づくり団体「秋津野塾」や直売所「きてら」体験型宿泊施設「秋津野ガルテン」等の紹介があり、続いてICTによるスマート農業を活用し、生産拡大や作業の省力・効率化等を図る農業法人「秋津野ゆい」の取り組みについて説明があった。

「秋津野ゆい」は昨年11月に設立され、耕作が困難な農地（現在約1.3ha）を借り受けて管理し、新たに農地を希望する新規就農者等に貸し出している。

また、次世代に農業をつなぐうえでスマート農業が重要となることから、リモコン式自走草刈り機や気象観測装置を導入し、適地適作の実践に取り組むということであった。

参加者からは、「とても参考になった」、「すぐに「秋津野ゆい」のような取り組みはできないが、まずは耕作放棄地になる前にスムーズに農地を引き継げる体制を作っていきたい」等の感想や意見があった。



耕作放棄地対策研修

## 2. 由良町内の子供たちに「ゆら早生」を贈呈

10月20日、由良町農業士会（会長：数見隆一郎氏）、ゆらっ子農業塾（塾長：中谷明博氏）が町内のこども園と小中学校4校に、町特産の「ゆら早生」を贈呈した。

この活動は、町発祥の極早生みかんである「ゆら早生」の特性や素晴らしさを町内の子供たちに知ってもらおうと毎年行われており、2年前から農業士会と農業塾が合同で実施している。

当日は、各会の役員4名が2班に分かれ、それぞれの学校を訪問した。由良町立衣奈小学校には同会の数見会長と同塾の中谷塾長が、由良小学校には同会の里地芳卓副会長と同塾の山口貴生副塾長が訪れ、児童会代表に「ゆら早生」を手渡した。

数見会長は、「ゆら早生は三尾川で発見されました。20年以上かけて作り、全国で知れ渡っています。ぜひ食べてみてください」と話した。受け取った児童会長は、「今年も美味しいゆら早生みかんを持ってきて頂き、ありがとうございます。甘くて美味しいので嬉しいです。一生懸命作ってくれたみかんを食べるのが楽しみです」と御礼の言葉を述べた。

農業水産振興課では、今後も農業士会活動を支援していく。



ゆら早生の贈呈（衣奈小学校）



ゆら早生の贈呈（由良小学校）